

TERENCE

TS-02

取扱説明書



**Keyboard
lights**

DL

ご使用する前に必ず取扱説明書をよくお読んでください。

目次

一、演奏前のご準備

1.機能の特徴	1
2.各部の名称	1
3.電源アダプターと内蔵バッテリーのご使用	3
4.イヤホン/音声出力のご使用.....	3
5.MIDI機能.....	3

二、ピアノの演奏ガイド

1.電源ON/OFF.....	4
2.音声の選び（“+”と“-”ボタンで音声を選ぶ）	4
3.数字ボタン（0～9）で音声を選ぶ.....	4
4.バーガッション演奏モード	4
5.演奏音に効果をかける.....	4
6.レッスンモードの設定.....	4
7.録音/再生機能.....	5
8.シャープ/フラット機能.....	5
9.リズム、コード、プログラミング、プレリユード/フィナーレ機能	6
10.デモ曲の再生.....	7
11.その他の機能.....	7

三、付録

付録一．140種類の音声一覧	9
付録二．128種類のリズム一覧	10
付録三．30曲のデモ曲一覧.....	11
付録四．61種類のバーガッション.....	11
付録五．シングルフィンガーコード一覧.....	12
付録六．マルチンガーコード一覧	13

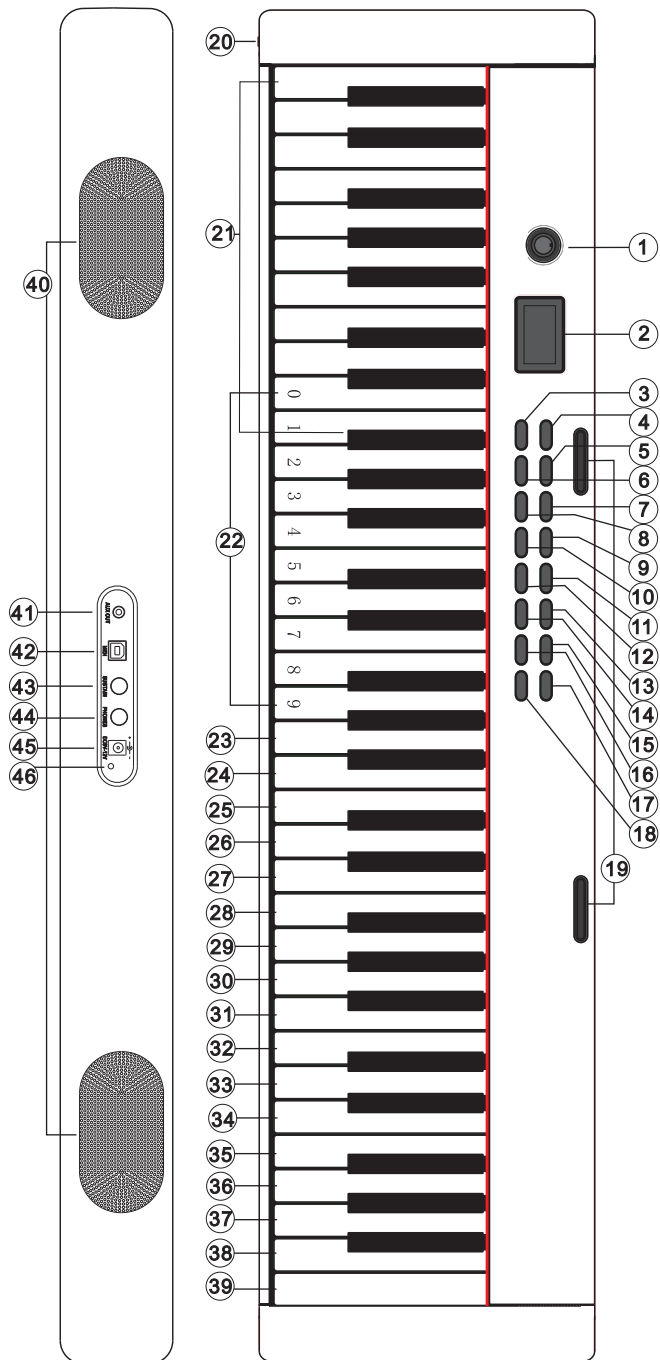
一、演奏前のご準備

1、機能の特徴

1. 61標準鍵電子キーボード
2. bluetoothオーディオ受信機能
3. レッスンアプリと有線接続可能
4. レッスンアプリと無線接続可能
5. 61種類のバーガッション
6. デュアルボイス、デュアルキーボード機能
7. 140種類の音声と128種類のリズム
8. 演奏の録音/プログラミング/再生
9. 同期、挿入機能
10. 3つのレッスンモード：1つのキーで練習
/キーで練習/合奏して練習
11. 30曲のモデ曲
12. メトロノーム
13. 統合コード機能
14. 音声持続、トレモロ機能
15. トランスポーズ
16. 主ボリューム、伴奏ボリューム、
ビートテンポコントロール
17. MIDI出力/入力
18. 電源入力（バッテリー内蔵）給電

2、各部の名称

1. 電源ON/OFF/総ボリューム調節
2. デジタルディスプレイ
3. 音声持続ボタン
4. 機能ボタン/(Bluetoothの接続成功のランプ)
5. 起動/停止
6. プレリユード/フィナーレ
7. 同期ボタン
8. 統合コードボタン
9. トランスポーズボタン
10. 挿入ボタン
11. スピードボタン
12. 伴奏ボリュームボタン
13. 1つのキーで練習ボタン
14. キーで練習ボタン
15. 音声選択ボタン
16. リズム選択ボタン
17. 機能“+”ボタン
18. 機能“-”ボタン
19. 譜面受部挿入用の溝
20. 3.5mmイヤホンジャック
21. コードエリアボタン
22. 数字ボタン(0~9)
23. レッスン1
24. レッスン2
25. レッスン3
26. 強くタッチ感度ON/OFF
27. メモリーボタン
28. メモリ1
29. メモリ2
30. メモリ3
31. デュアルボイスモードボタン
32. デュアルキーボードモードボタン
33. バーガッション演奏モードボタン
34. トレモロ機能ボタン
35. メトロノーム
36. 録音ボタン
37. 再生ボタン
38. プログラミングボタン
39. キーボードライトON/OFF
40. デュアルスピーカー
41. オーディオ出力
42. MIDI/スマホ接続ポート
43. 音声持続のペダルポート
44. 6.5mmイヤホンジャック
45. 電源ポート
46. 充電インジケータースランプ



3、電源アダプターと内蔵バッテリーのご使用

3.1 電源アダプターのご使用: 本体ではリチウムイオンバッテリーが内蔵されており、ピアノに電源を入れると直接使えます。また、本製品が付属の電源アダプターを本体に挿し込んで充電することができます。電源アダプターの標準ソケットに対応するACコンセントに挿し込み、もう一方の側を本体の背面の「DC5V-9V」ジャックに挿し込みます。
(電源アダプターを挿し込んだ後“レッド”充電ランプが点灯し、本体が充電中であることを示します)。本体の電源スイッチをONにするとそのまますぐ使えるようになります。
(本体が満充電になったら“レッド”充電ランプが消えます)。

ご注意: 電源アダプターを使用すると自動的に機器への充電が行われます。

3.2 内蔵バッテリーのご使用: 本体は1750mahのバッテリーを内蔵しております。外出時に本体を使う必要がある場合は、内蔵バッテリーで機器を給電することができます。

3.3 機器の充電: 内蔵バッテリーの残量が低すぎると、音量低下や音質劣化が起きることがあり、ディスプレイの機能表示が点滅したり、または本体が頻繁に再起動したりされます。この場合はバッテリーを充電してください。(充電したら“レッド”充電ランプが点灯し、満充電満充電になったら“レッド”充電ランプが消えます)。
警告: 電源アダプターが機器に接続されている場合、機器は電源スイッチのオン/オフに関係なく充電されている状態になります。機器を長時間使わない時は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。バッテリーが破損し、発熱や火災の原因になります。

注意:

1. バッテリーがフル充電するには約2~3時間かかります。バッテリーを6時間以上長時間充電しないでください。発熱や火災の原因になります。
2. 機器を充電する際は、事故を防ぐために人の見張りで充電を行ってください。
3. 電源アダプターは必ず本社が指定したものをお使いください。他の電源アダプターを使うと機器の部品が高温になって損傷を引き起こす可能性があります。

4、イヤホン/音声出力のご使用

4.1 音声出力のご使用: 本体の音声出力 (AUX OUT) はパワーアンプ内蔵のスピーカーと接続して音声出力端子まで届くように設定されております。

4.2 イヤホンのご使用: 本体には6.5mmと3.5mmの2つのイヤホンジャックがあります。ご使用したいイヤホンを相応のジャックに(PHONES)挿し込むだけでご使用できます。イヤホンを挿し込むと、スピーカーの音声出力が自動的にOFFになります。

ご注意: 6.5mmイヤホンジャックが本体の背面(PHONES)に、3.5mmイヤホンジャックが本体のフロントの左側(PHONES)にあります。

5、MIDI機能

本製品のMIDIポートをパソコンのUSBポートと接続して様々なMIDI編集ソフト(例えばはCakewalk)を通じると、本体とパソコンの間でMIDI情報が転送することができます。

ご注意: 本製品は接続ケーブルとMIDI編集ソフトが付属していません。

二、ピアノの演奏ガイド

1. 電源ON/OFF

電源スイッチと総ボリューム調節スイッチは一体式回転スイッチです。回転スイッチを時計回りに回転すると電源ONになり、反時計回りに回転すると電源OFFになります。回転スイッチを電源ONになるとディスプレイに“120”を表示します。電源ONになるとデフォルトで演奏モードで、“ピアノ”音声に設定されます。毎回機器を起動すると本体が自動で「000; ピアノの音声」と「000; クラブミュージック」にリセットされます。

2. 音声の選び（“+”と“-”ボタンで音声を選ぶ）

本製品は「000」から「139」までの140種類のリアル音声が搭載しており、自由に選択できます。音声を選択する時に、先に“音声選択”ボタンを押してください。この際にディスプレイに「EnE」を表示します。そして“+”と“-”を押して音声を選択してください。

3. 数字ボタン（0～9）で音声を選ぶ

先に“音声選択”ボタンを押してください。そして、“機能”ボタンを長押ししてください、“機能”ボタンを長押ししている状態に数字ボタンを押して音声を選択できます。対応の音声を選択した後“機能”ボタンを放す必要です。

4. パーカッション演奏モード

①パーカッション演奏モード：最初は「機能」ボタンを押しながら「パーカッション演奏」ボタンを押します。その後「機能」ボタンを離すと、それぞれの鍵盤が様々な打楽器に対応します。

②パーカッション演奏モードをオフにする：「機能」ボタンを押しながら「パーカッション演奏」ボタンを再度押した後、「機能」ボタンを離すとパーカッション演奏モードはオフになります。
（各鍵盤で対応する打楽器一覧は付録Ⅳを参照してください。）

5. 演奏音に効果をかける

トレモロ機能：「機能」ボタンを押しながら「トレモロ機能」キーを押します。「機能」ボタンを離すと、演奏音に対してトレモロ機能（音の揺れ）の効果をかけることができます。上記の操作を1回繰り返すと、トレモロ機能が解除されます。

音声持続：「音声持続」ボタンを押すと演奏時の音を長く延ばすことができます。「音声持続」ボタンを再度押すとキャンセルします。

6. レッスンモードの設定

6.1 レッスンモード1（1つのキーで練習）：「機能」ボタンを押しながら“レッスン1”ボタンを押すと、1つのキーで練習できるレッスンモードに入れます。キーボードのいずれかのキーを押すと、デモ曲の主旋律と伴奏メロディーが同時に演奏されます。練習したいデモ曲を選択した後に演奏を行わなかった場合、演奏が始めるまでに選択したデモ曲の伴奏メロディーの一部を繰り返し再生します
（ピアノの初心者に適した機能です）。

レッスン中に“+”または“-”ボタンを押してデモ曲を選択することができます。“+”または“-”ボタンを再度押すとデモ曲の番号はご選択したデモ曲までに手順に増減されます。“起動/再生”ボタンを押してレッスンモード1をキャンセルします。

6.2 レッスンモード2（楽譜を見ながら練習）：“機能”ボタンを押しながら“レッスン2”ボタンを押すと、楽譜を見ながら練習できるレッスンモードに入り、ユーザーが選択したデモ曲の伴奏メロディーが再生されます。音を次々と演奏し続けるために、デモ曲の主旋律に応じて対応するキーを押してください。演奏中でデモ曲の主旋律に対応することが正しいキーが押されていない、またはどのキーも押されていない場合は、正しいキーが押されるまでにこの小節のメロディーが繰り返し再生されます。レッスン中に“+”または“-”ボタンを押してデモ曲を選択することができます。“+”または“-”ボタンを再度押すとデモ曲の番号はご選択したデモ曲までに手順に増減されます。“起動/再生”ボタンを押してレッスンモード1をキャンセルします。

6.3 レッスンモード3（合奏して練習）：“機能”ボタンを押しながら“レッスン3”ボタンを押すと、合奏して練習できるレッスンモードに入り、本体からデモ曲の伴奏メロディーが再生されます。ユーザーは本体から再生される伴奏メロディーに従って主旋律を演奏することができます。レッスンモードに入って3秒間演奏しないと自動的にデモ曲の主旋律が再生され、ユーザーにリマインドします。レッスン中に“+”または“-”ボタンを押してデモ曲を選択することができます。“+”または“-”ボタンを再度押すとデモ曲の番号はご選択したデモ曲までに手順に増減されます。“起動/再生”ボタンを押してレッスンモード1をキャンセルします。

6.4 曲名と曲順は（付録三）をご参照してください。

7. 録音/再生機能

“機能”ボタンを押しながら“録音”ボタンを押します。“機能”ボタンを離すと録音が始まります。録音終了後は、“機能”ボタンを押しながら“再生”ボタンを押してください。録音されたメロディーが最初から最後まで再生されます。再度録音された演奏を聞きたい場合は、もう一度“機能”ボタンを押しながら“再生”ボタンを押してください。録音中に“録音”と“再生”状態からキャンセルするには、録音されたメロディーがまだ再生していない場合に“機能”ボタンを押しながら“録音”ボタンを1回押すとキャンセルし、録音されたメロディーが再生完了した場合に“起動/停止”ボタンを押すとキャンセルします。

ご注意：本製品は最大695個の音符しか録音できません。695個の音符を録音済んだら新しく演奏された音が録音されません。

8. シャープ/フラット機能

本製品では対応するキーの音程を半音上下できるシャープ/フラット機能を搭載しております。まず、“トランスポーズ”ボタンを押し、ディスプレイに「P00」を表示します。そして、“+”と“-”を押して音程を設定します。“+”または“-”ボタンを押せば、音程を「+6」から「-6」の範囲で、半音上下することができます。“トランスポーズ”ボタンを押しながら“+”と“-”ボタンを同時に押すと、音程がデフォルトの「P00」に戻ります。

9.リズム、コード、プログラミング、プレリユード/フィナーレ機能

9.1リズムの演奏

リズムスタンド: “起動/停止”ボタンを押すとリズムの演奏が始まり、ディスプレイに該当リズムのスピードを表示します。“起動/停止”ボタンを再度押すとリズムの演奏をキャンセルします。

9.2 リズムの選択

A.本製品は「000」から「127」までの番号が付けられた128種類のリズムを内蔵されております。

まず“リズム選択”ボタンを押し、ディスプレイに「rh9」を表示します。

そして“+”または“-”ボタンを押してリズムを選択します。

B.或いは、まず“リズム選択”ボタンを押します。そして“機能”ボタンを押しながら数字ボタンで相応のリズムの番号を押してリズムを選択します。

9.3 同期演奏/統合コードモード

A.リズムと主音を同期に演奏させるには、“同期”ボタンを押してコードエリアのボタン（左から数えて1～19番のボタン）を押すと、演奏された音がリズムと同時に演奏されます。

B.統合コードモードのご使用: まず“同期”ボタンを押して“統合コード”

ボタンを押します。そして、“シングルフィンガーコード”或いは

「マルチフィンガーコード」によってコードエリア（左から数えて1～19番のボタン）で弾くと演奏された音がリズムと同時に再生されます。

本ピアノは演奏者がご使用したのはシングルフィンガーコードか、それとも、マルチフィンガーコードかを自動的に識別できます。

ご注意: “統合コード”ボタンを再度押すと統合コードモードをキャンセルします。

“起動/停止”ボタンを押すとリズムとコードの同期演奏をキャンセルします。

9.4 メトロノーム

正常の状態で“機能”ボタンを押しながら“メトロノーム”ボタンを押すたびに、1/4ヒント→2/4ヒント→3/4ヒント→4/4ヒント→停止→1/4ヒント...メトロノームのテンポがループ再生されます; メトロノームを停止するには、“起動/停止”ボタンを押してください。

9.5 曲の挿入

リズムの演奏中に“挿入”ボタンを押すと、本ピアノが自動的に印象が強い間奏曲を演奏し、間奏曲の再生が終了したらリズムの伴奏を続けて演奏します。

9.6 テンポの調節

本体のテンポはデフォルトとして120BPMで設定されており、“スピード”ボタンを押して“+”または“-”ボタンを押すとリズムのテンポを自由に調節できます。本体のリズムテンポは30～300BPMの範囲で、合計270種類を内蔵されております。

デフォルトの再生テンポは120BPMになりますけど、好きなデモ曲を選択して演奏

する場合、その曲のテンポがメインテンポになります。デモ曲と同様に、

好きなリズムを選択して演奏する場合、選んだリズムのテンポがメインテンポになります。

“+”または“-”ボタンを2秒で押すとテンポが連続で増減できます。

9.7 プログラミングと再生: 「機能」ボタンを押しながら「プログラミング」キーを押してください。「機能」ボタンを離すと、本体は自動的にパーカッション演奏モードに入り、鍵盤それぞれに対応する打楽器を演奏することができます。演奏されたパーカッションメロディーは全部記録され（ドラムは最大128個まで記録できる）演奏が終了後、「機能」ボタンを押しながら「再生」キーを押せば、先程演奏されたパーカッションメロディーを再生できます。再生中に“スピード”ボタンを押して“+”または“-”ボタンを押すと再生のスピードが調節できます。“起動/停止”ボタンを押してプログラミング機能をオフにします。

9.8 プレリユード/フィナーレ機能

再生中に“プレリユード/フィナーレ”押すとフィナーレを再生した後にリズム再生が停止します。リズム再生がない状態で“プレリユード/フィナーレ”押すとプレリユード曲を少し再生して今のリズムで再生します。

10. デモ曲の再生

10.1 一曲歌う: “1つのキーで練習”ボタンを押すとデモ曲プレイリストの一曲目を再生します。“1つのキーで練習”ボタンを押すと再生が停止します。“1つのキーで練習”ボタンを再度押すと次の曲にスキップします。指定のデモ曲を選択した場合、この曲がリピート再生されます。“+”または“-”ボタンを押してデモ曲を選択します。

10.2 連続で歌う: “キーで練習”ボタンを押すとデモ曲プレイリストの一曲目を再生します。当時再生中の曲が終了すると次の曲を再生し、再び“キーで練習”ボタンを押すまではプレイリストの曲を繰り返し再生続けます。“+”または“-”ボタンを押してデモ曲を選択します。“起動/停止”ボタンを押して一曲歌うモードや連続で歌うモードをキャンセルします。

10.3 「一曲歌う」または「連続で歌う」キーを押すと、自動的に選曲モードに入ります。「機能」ボタンを押しながら「数字」キーでデモ曲の対応番号を入力すれば、好きなデモ曲を選択することができます。「数字」キーを押した後は、「機能」ボタンを離してください。

10.4 デモ曲一覧は付録三（P.11）をご参照してください。

11. その他の機能

11.1 総ボリューム調節:

電源ONの状態では総ボリューム調節スイッチを回転して総ボリュームを調節します。回転スイッチを時計回りに回転すると音量アップにし、反時計回りに回転すると音量ダウンにします。最後まで反時計回りに回転すると電源OFFになります。

11.2 伴奏音量: “伴奏”音量を押して“+”または“-”ボタンを押すと伴奏音量が調節します。調節範囲: 1 ~ 10。

11.3 “強くタッチ感度ON/OFF”: “強くタッチ感度ON/OFF”ボタンはキーボードのタッチ感度のON/OFFボタンです。電源ONになるとタッチキーボード感度がデフォルトでONになります。“機能”ボタンを押しながら“強くタッチ感度ON/OFF”ボタンを押すとOFFになり、再度押すと再度ONになります。

11.4 デュアルボイス:

機能ボタンを押しながら“デュアルボイス”ボタンを押してください。2つの楽器音を同時に鳴らすことができます。“デュアルボイス”ボタンを押してから“+”または“-”ボタンを押して第2種類の音声を選択できます。機能ボタンを押しながら“デュアルボイス”ボタンを再度押すとこの機能をオフになります。

11.5 デュアルキーボードキー:

「機能」ボタンを押しながら「デュアルキーボード」キーを押してください。そしてキーボードはC2~B3およびC4~C7の2つのセクションに分けられます。キーボードのC2~B3の位置はC4~B5の位置に対応します。「音色選択」ボタンを押して音色を選び、C4~C7キーの音色と入れ替わることができます。鍵盤を2つに分けて、同時に別々の音色で演奏することができます。「機能」ボタンを押しながら「デュアルキーボード」キーを押すと、この機能をオフにできます。

11.6 bluetoothオーディオ受信機能のご使用:

スマホのbluetooth機能を開けて本ピアノのbluetooth名: TERENCE pianoを検索して接続してください。ペアリング成功になるとピアノにヒント音がし、機能ボタンのランプが点灯します。ペアリング成功すると、スマホの音をbluetoothで本ピアノで再生します。

付録、一 140種類の音色一覧

000	グランドピアノ	047	ティンパニ	094	シンセサウンド7
001	アボカリプス・ブリーズ	048	弦楽合奏-1	095	シンセサウンド8
002	グランド電子ピアノ	049	弦楽合奏-2	096	効果音1 雨の音
003	バーピアノ	050	合成弦楽-1	097	効果音2 サウンドトラック
004	電子ピアノ1	051	合成弦楽-2	098	効果音3 水晶
005	電子ピアノ2	052	教会ハーモニー合唱	099	効果音4 大気
006	ハーブシコード	053	ボーカルハーモニー	100	効果音5 ブライト
007	クラヴィコード	054	ボーカル・シンセシス	101	効果音6 化け物
008	チェレスタ	055	オーケストラ・ユニゾン	102	効果音7 エコー
009	カリヨン	056	トランペット	103	効果音8 SF
010	オルゴール	057	トロンボーン	104	シタール
011	ビブラフォン	058	ユーフォニウム	105	バンジョー
012	マリンバ	059	トランペットミュート	106	三味線
013	シロフォン	060	フレンチホルン	107	そうのこと
014	チューブラベール	061	ウインド・アンサンブル	108	カリンバ
015	ダルシマー	062	シンセ・ブラス-1	109	バグパイプ
016	電子オルガン	063	シンセ・ブラス-2	110	バスピオル
017	パーカシップ・オルガン	064	ソプラノサックス	111	シャナイ
018	ロック・オルガン	065	アルトサックス	112	ベル
019	教会オルガン	066	テナーサックス	113	アゴゴ
020	リードオルガン	067	アルトサックス	114	ワイルドポップス
021	アコーディオン	068	オーガエ	115	木魚
022	ハーモニカ	069	イングリッシュホルン	116	太鼓
023	タンゴ・アコーディオン	070	ファゴット	117	メロディー
024	ギター(ナイロン)	071	クラリネット	118	マーチングテナードラム
025	ギター(スチール弦)	072	ピッコロ	119	エコードラム
026	ギター(ジャズ)	073	フルート	120	ギターシンバル
027	ギター(クリーントーン)	074	リコーダー	121	フレットノイズ
028	ギター(ミュート)	075	パンパイプ	122	海の波音
029	ディストーションギター	076	瓶を吹く音	123	鳥のさえずり
030	ハードなディストーションギター	077	尺八(日本楽器)	124	着信メロディー
031	ギターハーモニクス	078	口笛	125	ヘリコプター
032	コントラバス(指弾き)	079	オカリナ	126	拍手
033	エレキベース(指弾き)	080	シンセリード1(矩形波)	127	銃声
034	エレキベース(ピック弾き)	081	シンセリード2(のこぎり波)	128	楊琴(ヤンチン)
035	フリーベース	082	シンセリード3	129	琴
036	ベース1(親指で叩いて弾く)	083	シンセリード4	130	中阮(チョンルアン)
037	ベース2(親指で叩いて弾く)	084	シンセリード5	131	琵琶(ピバ)
038	シンセベース-1	085	シンセリード6(人声)	132	大きいサイズのチャルメラ
039	シンセベース-2	086	シンセリード7(平行5度)	133	チャルメラ
040	ヴァイオリン	087	シンセリード8(ベース+リード)	134	二胡(アウフー)
041	ヴィオラ	088	シンセ音1(ニューエイジ)	135	粤胡(ユエフー)
042	チェロ	089	シンセ音2(癒やし)	136	笛子(ディズ)
043	コントラバス	090	シンセ音3	137	梆笛(バンディー)
044	トレモロ・ストリングス	091	シンセ音4(合唱)	138	古箏(グチェン)
045	ピチカート・ストリングス	092	シンセ音5	139	曲笛(チュイディー)
046	管弦楽曲のハーブ	093	シンセ音6		

付録、二 128種類のリズム一覧

000	クラブミュージック	043	即興 インドの舞楽	086	ディスコ・ダンス
001	16ビートポップス	044	グアドループのダンス	087	ディスコ・サンバ
002	8ビートポップス	045	12ビートのレゲエ	088	ブリットポップ
003	8ビートソウル	046	16ビートのレゲエ	089	クラブ・ダンス
004	8ビートロック	047	バサノバ	090	モダンR&B
005	ポップラップ	048	マンボ1	091	憂鬱なフォックストロット
006	ポップ・ロック	049	マンボ2	092	(1920年代に流行した) チャールストン
007	60年代ソウル	050	ボレロ	093	ディスコ・ポップ
008	70年代ソウル	051	クンビアダンス	094	ディスコ・ソウル
009	ファンク	052	ラテン・ロック	095	ディスコミュージック
010	16ビート・シャッフル	053	ラテン・ディスコ	096	ヨーロビート
011	ツイストダンス	054	ティファナ	097	ラップ
012	ブリットポップ	055	レゲエ	098	ワイルド・ダンス
013	ハードロック	056	スローロック1	099	カントリー・ミュージック1
014	フュージョン・ジャズ	057	スローロック2	100	カントリー・ミュージック2
015	ファンク・シャッフル	058	スローロック3	101	ビッグバンド・シャッフル1
016	フュージョン・シャッフル	059	ソウルミュージック	102	ビッグバンド・シャッフル2
017	軽快ロック1	060	8ビートアドリア	103	ビッグバンド・シャッフル3
018	軽快ロック2	061	クラシックピアノ・バラード	104	ハイスピード・ビッグバンド1
019	情熱ロック	062	アンブラグド	105	ハイスピード・ビッグバンド2
020	ジャズ・ロック	063	ポップ・バラード	106	ワイルドポップス
021	速いゴスペル・ミュージック	064	ニューエイジ・ポップ	107	サウス・アフリカン・ジャズ
022	ボカロック	065	8ビートモダン	108	ポップジャズ
023	ロック・ビリー	066	カントリー・バラード	109	ジャズ・ビッグバンド
024	ブギロック	067	ラブソング	110	ジャズ・クラブ
025	チャチャロック	068	シティポップス	111	レゲエ
026	クラシックロック	069	エレクトロポップ	112	初期のポルカ
027	ロックシャッフル	070	聴覚のバラード	113	ポルカ・ポップス
028	ロックポップ	071	ピアノ・バラード	114	スロー・ブルース1
029	ワルツ	072	R&B・バラード	115	スロー・ブルース2
030	チャチャチャ	073	ロックバラード	116	スロー・ブルース3
031	ルンバ	074	スローで軽快なテンポ	117	ポップ・ワルツ
032	ラップロック	075	バラードの類似曲	118	アメリカン・マーチ
033	バソドブレ	076	ポップで壮大なメロディー	119	マーチ
034	サンバ1	077	動感メロディー1	120	タランテラ
035	サンバ2	078	動感メロディー2	121	監禁ロック
036	ロックミュージック1	079	ファンク・ディスコ	122	スウィングワルツ
037	ロックミュージック2	080	サタデーナイトソング	123	ピアノバー
038	フォックストロット	081	クラブ・ラテン	124	ジャズ・ワルツ1
039	ワルツ	082	チョコレート・ディスコ	125	ジャズ・ワルツ2
040	アルゼンチンタンゴ	083	フォックストロット・ディスコ	126	曲を表示
041	イタリアンタンゴ	084	ファンク・ディスコ	127	ポルカ
042	サルサ	085	ディスコ支配曲		

付録、三

一、デモ曲一覧

000	Fur elise	015	Wheels on the Bus
001	Fançaisie impromptu opus 66	016	Head and Shoulders
002	Moonlight Sonata, Op. 27, No. 2	017	Bingo
003	Minuet in G	018	If You're Happy and You Know It
004	Waltz No.6 in D Flat Op.64 No.1:Minute	019	Sonata No. 14 in C-Sharp Minor, Op. 27 No. 2
005	Flight of the Bumble Bee mix	020	赤とんぼ
006	waltz In A Minor B.150 Op. Post	021	大きな古時計
007	Musette in D Major	022	蛍の光
008	Rondo alla gurca	023	旅愁
009	The Piano Sonata	024	幸せなら手をたたこう
010	Prelude no.1 in C major	025	あのはるか遠い場所には
011	Beethoven Pathetique Sonata 3rd movement	026	あめふり
012	Hungarian Rhapsody No. 6	027	こいのぼり
013	Mazurka,Op.33 No.2	028	七つの子
014	Twinkle, Twinkle, Little Star	029	仰げば尊し

付録、四

二、パーカッション一覧

C2	C#2	D2	D#2	E2	F2	F#2	G2	G#2	A2
A#2	B2	C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3
G#3	A3	A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4
F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5
E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	B5	C6	C#6
D6	D#6	E6	F6	F#6	G6	G#6	A6	A#6	B6
C7									

付録五、シングルフィンガーコード一覧

	M	m	7	m7
C				
C#				
D				
D#				
E				
F				
F#				
G				
G#				
A				
A#				
B				

付録六、マルチフィンガーコード一覧

	M	m	7	m7	dim7	M7	m7-5	dim
C								
C#								
D								
D#								
E								
F								
F#								
G								
G#								
A								
A#								
B								

マルチフィンガーコード一覧二

	aug	sus4	7sus4	m add9	mM7	7-5	add9
C							
C#							
D							
D#							
E							
F							
F#							
G							
G#							
A							
A#							
B							

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品寿命を延ばし、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

1. 本体のケースを開けて内部の部品を分解したり改造したりしないでください。使用中に異常・故障が発生した場合、直ちに使用を中止して、有資格者による修理を受けてください。
2. 指定された電圧と付属の電源アダプターを使用してください。異なった電圧や電源アダプターを使うと、故障、発熱、火災などの原因になります。
3. 電源アダプタを熱源（例：ヒーターやラジエーターなど）の近くに置かないでください。電源コードを傷つけないように、無理に曲げたり、重いものを乗せないでください。
4. 感電や火災、故障の原因になりますので、本体のプラグを多目的ソケットに差し込まないでください。長時間使用しない場合や雷が鳴っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを直接引っ張らないで、必ずアダプタを持って抜いてください。
5. 外観の破損や内部部品の破損を防止するために、使用中、保管中にかかわらず、本体を次のような場所に置かないでください。
 - ① ほこりの多い場所や激しい振動のある場所
 - ② 異常に高温または低温になる場所（例：直射日光の当たる場所、暖房器具の周辺、炎天下の車中など）
6. 落下による破損を防止するために、本体を不安定な場所に置かないでください。本体の上に座ったり、重いものを上に置いたりしないでください。
7. 本体を浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しないでください。製品内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になりますので、液体の入った容器を本体の上に置かないでください。
8. 本体のほこりを拭き取る前に、電源アダプターのプラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。塗料、有機溶剤または化学物質が含浸された布で本体を拭かないでください。パネルや鍵盤が褪色する可能性がありますので、本体の上にビニールやプラスチックの製品を置かないでください。

9.湿度が高い時期は、過度の湿気で本体内部通信に影響を与えますので、本体を常に通電しておく必要があります。使用中に発生する熱でピアノ内部の水分を分散させ、本体を湿気から保護できます。湿度が非常に高いときは、防塵防湿カバーを使って鍵盤を保護してください。

10. お子様を使う場合、本体は必ず保護者のかたが開封してください。保護者の監視 / 指導上で、製品をお子様に渡してください。開封したビニール袋は適切に保管、または廃棄してください。

- 本製品の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 製品取扱説明書・パッケージに記載されている画像はイメージで、実際の商品とは多少異なる場合がございますが、ご了承ください。